



派遣留学生らが「トビタテ！留学JAPAN」の掛け声で記念撮影



盛山文科大臣
のなかを充実に
いながら学生生活
を充実させてもら
いたい。後悔する
ことはないと言え
るよう、これから
の人生を充実させ
ていくことを心か
ら期待する」と激

トビタテ！留学JAPAN 新日本代表プログラム
第16期生壮行会、盛山文科大臣が派遣留学生を激励

「トビタテ！留学JAPAN 新日本代表プログラム【大学生対象】」第16期派遣留学生壮行会が7月21日、文部科学省で開催され、派遣留学生、企業・団体関係者など約300名が参加した。第16期は、1369名の応募から267名が派遣留学生として採用された。はじめに盛山文科大臣が挨拶し、3月に取りまとめた「博士人材活躍プラン」に触れつつ「卒業式を英語では『commencement』と言うが、『始める』という意味でもある。博士や色々な資格は入口に立ったという意味に過ぎない。是非とも皆様には海外で色々な経験をして、問題意識を持って日本に帰ってきてほしい。そして自身が何を目標にしたのかを考えてもらいたい。後悔することはないと言えるよう、これからこの人生を充実させていくことを心から期待する」と激励した。



船橋エグゼクティブアドバイザー(左端)による記念品贈呈後の記念撮影



派遣留学生を激励する盛山大臣(文科省3階講堂)

最後、トビタテ！留学JAPAN エグゼクティブアドバイザーの船橋力氏から挨拶が述べられるとともに記念品が贈呈された。派遣留学生らは、8月以降世界に向けて飛び立つ。

(35頁に関連記事)

トビタテ！留学JAPAN 新日本代表プログラム
第16期生壮行会、盛山文科大臣が派遣留学生を激励